

元鹿島アントラーズ所属の川俣慎一郎選手に、サッカー部員が指導していただきました。
～いとうけんせつアカデミー 出前講座～

12月3日（土）に、「いとうけんせつアカデミー」の出前講座「建設業からサッカーへ」が本校で開催され、サッカー部員1・2年生、合計18名が参加しました。

この取り組みは、サッカー選手の経験を学び、高校生に今後の人生に活かしてもらうことと、若い世代に建設業に興味をもってもらうことを目的に、株式会社伊東建設（銚田市）が企画しました。

講座は、午前中に行われ、元鹿島アントラーズ、現南葛SC（本拠地：東京都葛飾区）所属のゴールキーパーの川俣慎一郎選手を講師として招き、講話と練習に参加していただきました。

講話では、川俣選手から「サッカーを通して学んだこと」「鹿島アントラーズで経験したこと」「クラブワールドカップで経験したこと」をテーマに、つらかったことや悔しかったことを含めて話をいただきました。また、伊東建設の方から、サッカー場としても使用されている「銚田市総合運動公園の陸上競技場の人工芝の舗装工事」を事例にして、建設業とサッカーの関わりや、建設業の重要性について話をいただきました。

その後、学校のグラウンドに移動して、川俣選手がサッカー部の練習に参加して、ゴールキーパーへの個別指導や、ミニゲームを行ってチームへのアドバイスをいただきました。

本講座が、夢や目標を実現する「きっかけ」となり、サッカー部員が人間として大きく成長して、将来、社会で活躍する人材となることを期待しています。

【講座のようす】



【川俣選手の話】

- ・試合を想定した練習はもちろん、食事、睡眠、体調管理など、試合に向けてしっかりと準備することが重要。
- ・小学生の時の「県で一番になりたいならば、県で一番努力しなさい」というコーチの言葉が印象に残っている。
- ・鹿島アントラーズでは、優勝した時の感動や、すべての試合を勝ちにいく姿勢を経験した。また、事務、営業、運営のみんなが勝利のために気持ちを一つにして仕事に取り組むファミリー的な雰囲気がすばらしかった。
- ・「サッカーしか知らない」では、社会で通用しない。高校生の時から、いろいろな経験をしてもらいたい。
- ・毎日、学校に来て、サッカーができることに幸せを感じるとともに、保護者に『ありがとう』と感謝の気持ちをもって過ごしてほしい。応援してくれる人のために、勝ち負けでなく、一生懸命にやるのが大切である。